

2007年5月15日

株式会社 三越 2007年4月上報告

1. 店別状況

店名	前年比 (%)
全店合計	-5.2
日本橋	-6.8
新宿アルコト	1.5
銀座	-9.6
池袋	-2.9
千葉	-5.0
仙台	2.6
札幌	-10.6
名古屋栄(ラシック含)	-5.7
名古屋星ヶ丘	-1.7
新潟	-5.7
広島	0.2
高松	7.6
松山	-1.2
福岡	-4.5
鹿児島	-8.3

2. 商品分類別売上高

		前年比 (%)
合計		-5.2
衣料品	紳士服・洋品	-5.5
	婦人服・洋品	-4.5
	子供服・洋品	-1.8
	その他衣料品	-4.2
衣料品小計	-4.5	
身の回り品	-0.4	
家庭用品	家具	-10.7
	電器	-17.1
	その他家庭用品	-10.5
家庭用品小計	-11.0	
食料品	-1.3	
食堂・喫茶	-7.2	
雑貨	-12.2	
サービス	0.1	
その他	-7.4	

3. 店頭・事業部門別売上高

(金額単位:千円 前年比:%)

	店頭部門		事業部門	
	売上高	前年比	売上高	前年比
月計	45,917,567	-5.7	9,573,863	-2.9
累計	97,231,462	-5.0	19,230,799	-2.0

4. 来店客数

	前年比 (%)
全店	3.1

6. 商況概況

<p><4月商況></p> <ul style="list-style-type: none"> 宝飾品等の高額品は引き続き好調に推移。衣料品は春物に加えリネンなど初夏物が動き出す。全般的には伸び悩み、全店店頭合計の売上は前年を下回る-5.2%となった。 新宿アルコト店、仙台店、広島店、高松店の4店舗は前年を上回った。 日本橋本店は、文化催事が好評で来客数が前年を上回り、衣料品や3月にリニューアルした婦人雑貨が堅調に推移したものの引き続き本館地下1階食品フロアの一部閉鎖による売場面積減少の影響もあり売上前年比は-6.8%となった。 銀座店は、婦人服・雑貨が好調だったが一部ブランドの契約終了による売上減が響き、売上前年比は-9.6%となった。査定に対しては、ほぼ計画通りに推移している。 名古屋栄店は、高額品の動きは堅調だったが衣料品や雑貨などが伸び悩み、売上前年比は-5.7%。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> 5月29日(火)より、日本橋本店を皮切りに全店で中元ギフトセンターをオープン。親しい方にこだわりの品を贈りたいというご要望にお答えして、歴史・文化・製法にこだわった三越ならではの企画・限定商品を提案します。インターネットでは5月18日(金)より先行してスタートします。 5月9日にギフトに特化した小型店舗「大阪ギフトサロン」をオープン。来客・売上ともに好調に推移。
--

(参考) 2006年5月からの売上前年比推移(全店計)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
全店計	-8.8	-5.1	-5.0	-6.6	-0.6	-4.9	-2.0	-4.5	-1.0	-3.8	-3.8	-5.2